

## 平成25年度 東堀切くすのき園 事業報告書

### 1. 施設運営・支援状況報告

#### (1) 施設運営

法人理念「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」に基づき事業を行った。

平成25年度は、新規利用者がいなかった為、55人によるスタートであったが、両親の高齢病弱化により、家庭での生活支援が困難となり、1名が7月初旬に入所施設に移動された。その他にも「父子家庭で短期入所を繰り返す」、「情緒不安定時に対応ができない」など、各家庭での対応力低下が進んでいるように見受けられる。そのためか、年間登園率は昨年度を1.1%下回る、87%であった。土曜登園日は8日間（うち2日間は宿泊に充当）の設定で、利用率は69.4%（前年度72%）であった。

職員については、新規採用1人、契約職員からの正規採用1人、他事業者からの異動1人の布陣であったが、年度途中で異動職員は退職している。職員の不足については契約職員の採用で充当した。サービス管理責任者は引き続き支援係長が兼任し、利用者支援の進捗管理を行った。嘱託医、音楽療法士、理学療法士に変更はなかった。有期契約職員の出入りは非常に少なく、安定した勤務体制が可能であった。

利用者権利擁護の取り組みについては、人権に関する研修に参加したほか、朝礼時に「倫理綱領」の読み上げを行い意識付けと定着を心掛けた。

行動制限廃止委員会では、日々の支援を通じて家族の承認を得ながら行動制限の範囲縮小を進めている。全廃には至っていないが、個々の事案の具体的取り組みについては少しずつ時間が延びるなど改善の兆しが見られつつある。

#### (2) 支援状況

平成25年4月は、新規利用開始の方はおらず、55人の現員でスタートした。7月にお一人が都合により退所し入所施設へ移られたが、利用者の追加入所はなかった。利用者グループ体制については、引き続き男女別グループを含む5グループの体制を継続した。同性グループ同士での協力や、必要に応じて混合グループを構成するなど、利用者支援が臨機応変に展開され、より濃密な支援が可能となっている。

家族サポートについては昨年同様利用者支援の延長線上にあるという位置づけで積極的に行った。具体的には、日常生活相談業務をはじめとして嘱託医師との健康相談や栄養相談。あるいは、緊急一時入所時の、入所施設との連絡調整等、本来は家族が独自に行うものであるが、個々の家庭の状況によって積極的に関与を行った。

土曜開所の状況は、若干利用率が下がっているが、中には100%登園する方もおり、引き続きニーズは高い。

理美容サービスは4年目を迎え、利用者との関係性も高まり、安定した提供ができた。

自己都合による長期欠席者の状況は、引き続き家族を含めて支援を継続しているが、家庭内での対応に限界があり改善傾向はあまり見られていない。

日中活動については、自由な表現活動として「絵画活動」や「ダンス活動」を開始し、利用者皆さんの思い思いの心の内が吐露される活動となっている。

#### (3) サービス評価と苦情解決

福祉サービス第三者評価については、利用者聞き取り調査、保護者アンケート、職員アンケート、経営層合議を経て、標準項目を全て満たしているとの評価を得た。特に評価された点は、①「家庭訪問等で利用者情報を把握し、豊かな生活に向けた支援に活かしている」②「施設長が、業務改善や仕事へのチャレンジを積極的に進め、絵画活動の新設など利用者支援の向上に成果を上げている」③「自由・選択・決断を支援テーマとし、利用者の主体的、能動的な取り組みを支援している」であった。

さらなる改善が望まれる点は、①「各種マニュアルや手引書の定期的見直しと、これらを活用した職員研修の実施」②「地域町会との防災協定締結」③「個人情報保護の観点から、利用者の健康状態や家庭からの申し送り事項の一覧（引継ぎ）表掲示方法の検討」が挙げられた。

利用者・保護者からの相談苦情申し立てに対する対応と第三者委員の取り組みについては、細

かい相談や苦情はあったものの、日々の連絡帳や電話等で家庭と連絡を取り合っていたため、苦情解決規程に沿った処理を必要とする内容はなかった。第三者委員の取り組みについては、昨年同様、葛飾区社会福祉協議会職員に委員を委嘱した。東堀切くすのき園、白鳥福祉館、きね川福祉作業所の3施設合同の取り組みとして行ったことは昨年同様である。

苦情解決責任者 施設長 岡部智彦  
 苦情受付担当者 支援係長 本田直記

(4) 情報開示

施設広報誌を月1回の割合で発行した。うち隔月で地域及び関係機関へ配布を行った。引き続き、記事内容をビジュアル主体とすることで編集作業の負担軽減と、ご家族の好評を同時に得ることができた。苦情対応等の月次報告についても、情報提供が可能となった。事業所ホームページも、逐次更新作業を行っており、法人・事業所情報をより細かくタイムリーに伝えられるようになっている。

(5) 予算執行状況

昨年度の給付費単価改訂による影響はほとんどなく、引き続き安定経営が可能となっている。器具備品の購入も無理なく行われている。パソコン関係のウィンドウズOSのサポート問題についても年度内に対応を済ませた。施設整備積立金及び人件費積立金も堅調に推移している。葛飾区補助金については、平成26年度分まで担保されているが、平成27年度には「元区立」を対象に見直しの検討が予定されており、推移を見守りたい。

2. 職員配置報告 (平成26年3月31日現在)

単位；人

		施設長	係長	主任	事務員	支援員	看護師	栄養士	嘱託医	P T	M T	合計
施設	男	1	1			10 (5)			(2)	(1)		12 (8)
	女			1	1	7 (10)	1	1	(1)		(3)	11 (14)
	計	1	1	1	1	17 (15)	1	1	(3)	(1)	(3)	23 (22)

\*嘱託医師3名は、内科医・歯科医・精神科医

\* ( ) 内は、有期契約職員

\*主任は、育休取得中。

3. 利用者状況について(平成26年3月31日現在)

(1) 利用者 現員54人(定員50人)

(2) 性別・年齢別等 (人)

	~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	計
男	0	3	8	8	4	3	1	0	0	27
女	0	5	5	11	3	2	1	0	0	27
計	0	8	13	19	7	5	2	0	0	54

平均年齢：男 31.4歳 女 31.7歳 全体 31.6歳

## (3) 障害程度等 (人)

		愛の手帳										小計		計
		1度		2度		3度		4度		なし				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
身障手帳	1級	2	2	1	8			1				4	10	14
	2級		1	3	4							3	5	8
	3級			1								1		1
	4級													
	5級													
	6級			2								2	0	2
	なし		1	17	11							17	12	29
	小計	2	4	24	23	0	0	1	0	0	0	27	27	54
計	6		47		0		1		0		54			

## (4) 障害程度 (人)

支援費区分(非該当)				障害程度区分(平均区分5.4)							
	A	B	C	計	6	5	4	3	2	1	計
男					11	14	2	0	0	0	27
女					15	10	2	0	0	0	27
計					26	24	4	0	0	0	54

## 4. 会議報告

## (1) 法人関係

会議名	回数	開催日	参加者
施設長会議	6	4/17 6/19 8/21 10/16 12/18 2/19	施設長
事務担当者会議	1	4/17	施設長 事務員
葛飾地区施設長会議	12	4/12 5/10 6/17 7/18 8/16 9/13 10/4 11/14 12/16 1/15 2/17 3/14	施設長
葛飾地区第三者委員会	12	4/8 5/13 6/6 7/8 8/6 9/12 10/2 11/11 12/3 1/7 2/4 3/6	施設長
葛飾地区役職者会議	5	6/3 7/19 10/4 12/20 2/21	施設長 係長
本部PT(テキスト)	2	8/9 12/3	施設長
本部PT(虐待防止)	1	10/1	施設長
本部種別分科会	4	7/26 8/30 10/8 1/30	施設長
法人後援会	2	4/23 7/9	施設長

## (2) 施設関係

会議名	回数	開催日	参加者
職員会議	12	4/27 5/25 6/14 7/6 9/13 10/4 11/22 12/28 1/11 2/14 3/1 3/20	全職員
献立会議	12	4/16 5/16 6/13 7/11 8/20 9/12 10/17 11/15 12/13 1/17 2/14 3/11	栄養士 看護師 施設長 職員
運営会議	15	4/15 4/18 5/14 6/20 7/19 8/19 8/27 9/17 10/7 10/21 12/17 1/15 2/19 2/20	施設長 係長 事務員
役職リーダー会議		毎週金曜日	主任 リーダー
ケア会議		随時	
行動の制限廃止委員会	6	5/13 6/3 7/25 11/28 12/24 2/7	施設長 職員
支援向上委員会	2	4/18 11/21	施設長 職員
業務標準リスマネ委員会	4	5/10 5/30 6/4 7/24	リーダー 職員
業務改善委員会	2	6/3 7/22	リーダー 職員

## (3) 東京都社会福祉協議会

会議名	回数	開催日	参加者
部会役員会・幹事会	11	4/10 5/8 6/12 7/10 8/7 9/11 10/9 11/13 12/11 1/8 2/12	施設長
部会総会	3	5/22 10/23 1/29	施設長
部会全体会	1	6/28	施設長
都通研合同学習会	2	9/14 12/13	施設長
従事者共済会代議員会	4	5/15 6/24 10/17 3/13	施設長
東京大集会	1	9/8	施設長
支援困難事例対応研修	1	7/22	施設長

## (4) 区

会議名	回数	開催日	参加者
区内事業所施設長会	2	7/17 3/12	施設長
避難所運営訓練	1	2/16	施設長
入所調整会議	2	10/10 1/16	係長
相談支援実務者研修	2	2/6 2/13	施設長 係長

## (5) その他

会議名	回数	開催日	参加者
町会総会	1	4/28	施設長 係長
町会新年会	1	1/26	施設長 係長
地域ふるさと祭打合せ	6	4/4 5/9 6/13 7/11 8/5 2/6	係長
ふるさと祭り	3	8/1~3	職員

## 5. 研修報告

## (1) 施設内

研修名	回数	開催日	参加者
ボディーマカニクス	1	4/12	全職員
音楽療法	2	4/24 3/11	全職員
救急看護とトリアージ	1	5/30	全職員
利用者ケアマネジメント	1	6/6	全職員
セクシャルハラスメント	1	7/4	全職員
スタンダードプリコーション	3	7/12 7/18-19	看護師 職員
理念の語り (吉倉施設長)	1	9/17	全職員
理事長研修	1	11/19	全職員
リスマネ (シエル分析)	1	12/17	全職員
普通救命講習	1	2/1	全職員
グループスーパービジョン	2	2/18 3/5	全職員
介護実技研修	2	2/27-28	希望職員

## (2) 法人研修

研修名	回数	開催日	参加者
地区活動キックオフ	1	4/5	全職員
施設長研修 (触法障害者)	1	4/17	施設長
新任職員人事制度研修	1	4/26	職員 (2)
接遇マナーA研修	1	6/7	職員 (2)
クレーム対応研修	1	6/8	職員 (1)
施設長研修 (リーダーシップ)	1	6/19	施設長

リーダーOJT	3	6/21	リーダー (4)
栄養士研修	1	6/24	栄養士
ダイアログ研修	1	7/2	係長
リスクマネジメントA	1	7/5	職員
法人セミナー (共生社会と人権)	1	7/20	全職員
大地区人事考課研修	1	7/22	施設長
リスクマネジメントB	1	8/9	職員
施設長研修他	4	8/21 11/16 12/18 2/19	施設長
BCPマネジメント	1	10/31	施設長
接遇マナーB研修	1	11/1	職員
OJT研修	1	11/1	係長
地域啓発セミナー	1	11/6	施設長
リスクマネジメント	1	11/9	職員 (1)
役職マネジメント	1	11/18	係長
新任フォローアップ研修	3	11/25 12/5 12/6	施設長 職員
リスクマネジメントC	1	12/6	職員
看護師研修	1	12/9	看護師
法人セミナー	1	1/20	施設長 職員 (1)
地区実践報告会	1	2/1	全職員
係長多面評価	1	3/5	係長
地区活動まとめ	1	3/17	全職員
地区成年後見制度	1	3/17	全職員
新任職員研修	3	3/26~28	施設長 職員 (3)

### (3) 外部研修

研修名	回数	開催日	参加者
食べるを支える研修会	1	4/26	栄養士
トリアージ実技演習	1	5/11	看護師
全国施設長会議	2	6/4-5	施設長
摂食嚥下講座	1	6/8	看護師 栄養士
重い障害を持つ成人の摂食指導	1	6/30	職員
共生社会を創る愛の基金	1	7/15	係長
障害者のレクリエーション	1	7/22	職員 (1)
障害児の行動問題への理解	1	7/31	職員 (1)
ESPA摂食講座	2	9/1 12/1	職員 (2)
全社協施設新会計	1	9/19	事務員
社会福祉施設会計基礎実務	1	9/25	事務員
精神医療	3	9/25-27	係長
喀痰吸引・経鼻経管栄養	3	9/28-29 10/7-8 10/19-20	職員 (3)
福祉サービス第三者評価者養成研修	7	10/9-11 10/18 10/25 11/1 12/4	施設長
リーダーマネジメント	1	10/17	職員 (1)
中堅職員研修	1	10/28-29	職員 (1)
フードセミナー	1	11/23	栄養士
防災士研修	1	11/23-24	係長
強度行動障害の対応アプローチ	1	12/21	施設長
権利擁護	1	12/26	施設長
サービス管理責任者養成研修	3	1/9-10 1/17	職員 (2)
相談支援従事者養成研修	6	1/9-10 1/16-17 1/21-22	施設長 係長
給食施設管理技術講習会	1	1/21	栄養士

施設会計実務研修	1	1/28-29 1/31	事務員
上級救命研修	1	3/4	職員 (1)

## 6. 保守点検及び修繕報告

### (1) 建物維持管理及び保守点検関係

夜間及び休業日については施設が無人となるため、建物警備に関し専門業者と機械警備契約を結んでいる。近隣町会へ会議室等の貸し出しがある為、2種類の警備方式を設定している。

建物全体は築12年目であるが、大きな修繕等はなく以下の通り通常の建物維持契約の範囲で保守点検等を実施した。ただし、荒天時は建物事務所西側の壁と床の間より漏水があるため、屋上の防水対応や外壁再塗装等の補修工事が今後予想される。

また、消防法の改正により福祉施設でのスプリンクラー設置が義務化されており、区所管課との協議調整が必要な時期に来ている。

### 建物管理月次内容

	実施内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
機械設備	冷暖房機器		○						○				
	天井換気扇		○						○				
	ガス給湯器		○						○				
	加圧ポンプ		○						○				
	キュービクル		○		○		○		○		○		○
定期清掃	床ワックス	○		○		○		○		○			
	床剥離											○	
	窓ガラス					○						○	
	グリストラップ		○			○			○			○	
	屋上	○				○				○		○	
	流し台	○		○		○		○		○		○	
	厨房用換気ファン	○		○		○		○		○		○	
特別清掃	照明器具							○					
	天井・壁面							○					
	サッシ					○							
	排水溝・倉庫							○					
	空気吹出口・換気扇							○					
	沈砂槽・雨水槽							○					
	ブラインド							○					
その他	自動ドア								○				
	シャッター						○					○	
	エレベーター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	電話装置					○							
	害虫駆除			○				○					
	消防設備							○				○	
	植栽剪定・消毒			○				○					
	排水管高圧洗浄							○					

\* 毎営業日の館内清掃は昨年から同一業者に委託している。

### (2) 車輛保守点検

常時整備された状態で使用する等、日頃から点検業務に努めた他、職員の安全運転教育を徹底することで事故防止に努めた。

## 7. 固定資産物品・備品購入

購入備品一覧	数量	金額
事業用公用車	1	867,207
冷凍庫	1	395,220
冷蔵庫	1	424,780
業務用ガス炊飯器	1	617,400
パソコン（リプレース）	12	1,104,894
合 計		3,409,501

\*事業用公用車については、区から購入助成金（1,652,000円）あり。

## 8. ボランティア受け入れ

年間を通じ受け入れを行った。平成25年度は東京都立農産高校から園芸活動を中心とした学生ボランティアと、福祉系専門学校生のボランティアに多く来園していただいた。特に農産高校については、くすのき祭りへの出店を承諾いただくなど、良好な関係が築けている。一般ボランティアについては、行事等のイベントで活躍いただいたが、平日の通常利用者支援についても気軽に立ち寄り、自主自発的なボランティア活動が行えるよう、実践報告や雰囲気作りに努めたい。

月	定 期	不定期	月	定 期	不定期	月	定 期	不定期
4	0	3	8	0	4	12	0	15
5	0	7	9	0	11	1	0	11
6	0	15	10	0	26	2	0	0
7	0	18	11	0	8	3	0	13
小計	0	43	小計	0	49	小計	0	39

## 9. 実習生受け入れ

本年度の受け入れ実績については下表のとおり。新年度も積極的な受け入れを行いたい。

受入月日	要請施設・団体	人数
5/16-17 5/28-29 6/18-19 11/11 11/28	江戸川特別支援学校	6
5/30	葛飾盲学校	4
5/8 5/15 5/22 6/5 6/12 6/19 7/3 7/10 7/17	道灌山学園保育福祉専門学校	9
6/11-13 6/19-21 10/31-11/1	葛飾特別支援学校	3
10/8	第三者評価者養成研修	1
12/2-6	双葉中学校（職場体験）	2
1/20-24 1/27-31	東京医療秘書福祉専門学校	5
3/1-18	篠原学園専門学校	1
3/3-14	千葉経済短期大学	1

## 10. 地域交流計画及び行事計画

### (1) 地域交流行事

#### ①「アロマルーム」 7月6日（土）10：30～12：00

昨年に引き続き、地域の方に声をおかけして、施設内で利用者と合同でアロマによるリラクゼーションを楽しむ機会をもうけた。参加いただいたお客様から好評をいただいた。

#### ②「第12回くすのき祭」 10月12日（土）11：00～15：00

例年通り行事を通して地域の方にくすのき園を知ってもらおう企画とした。これまで利用者参加については、職員が実質的な利用者支援に携われないため自由参加としていたが、登園日としての設定を希望する声が多くあり、保護者会に全面協力を要請することで、土曜登園日として再設

定した。前述の通り、職員が利用者支援を行うためには、行事運営人員を最低限にするとともに、企画内容の縮小で対応した。当日は保護者も含めてボランティア要員が充足できたこと、企画を縮小したこと、近隣地域のイベントと重なったことにより、混雑する状況がなかったため、利用者はゆったりと祭りに参加することができた。

## (2) 年間行事

### ①宿泊旅行 9/6-7 9/20-21 (2回とも行先は木更津方面)

前年度の反省(家族の希望)に基づき、宿泊回数を2回とし、1回につき大型バス2台で実施した。このため、旅行不参加グループは、当日欠席扱いとなっている。大きな集団のため、複数回にわたる職員の負担が解消され、実施時の職員協力体制は十分に取れたが、集団が大きいため移動に時間がかかり宿泊の内容については、利用者の個別性に対応することは難しかった。

### ②クリスマス会 12月17日(金) 10:30~11:30

午前中に実施する形態とした。今年度は、20人以上の保護者と利用者・職員による合同のダンスレクレーションとした。毎年好評のプレゼントとクリスマス給食は本年も利用者には大変好評であった。当園シンボルツリーである「くすのき」に電飾を施し、雰囲気を楽しんだ。

### ③新年会(餅つき・獅子舞)平成26年1月8日(水) 10:45~11:45

送迎委託業者の協力を得て利用者全員が餅つきを行った。冬期長期休業の後だったが、にこやかな笑顔が見られ新年にふさわしい行事となった。ついたお餅はティータイム時にお汁粉として提供した。

### ④新成人を祝う会 1月11日(土) 10:45~11:30

本年度は1人の新成人を祝う会となった。ご家族からこれまでの成長をたどる写真をお預かりし、プロジェクターで投影した。他の保護者の皆さんの参加もあり、新年にふさわしい華やいだ雰囲気で実施することができた。

## 11. 防災避難訓練計画

雨天等で毎月の実施はできなかったが、火災による避難訓練を中心に実施した。主な訓練内容は通報・消火・避難誘導・避難経路状況把握といった一連の流れを訓練する「通報・避難訓練」を行った。近隣地域との防災協定は締結できていない。このほか、区主催の避難所開設訓練に施設長がオブザーバーで参加した。

## 12. 給食

### (1) 年間計画に基づき実施した。

- ①主食セレクト 月に1回の割合でごはんまたはロールパンのセレクトを実施した。
- ②主菜セレクト 3ヶ月に1回の割合で実施した。
- ③行事食 年間7回(入所式、クリスマス等)
- ④お楽しみ給食 都合4回(6月2回、11月2回)実施した。1階グループはフルコース形式、2階グループはバイキング形式を採用し、利用者には大変好評だった。

### (2) 残菜・嗜好調査 12月 3月に予定通り実施した。

### (3) 保護者対象試食会

2月の実施を計画していたが、インフルエンザ発症者が多数いたため、中止とした。

### (4) ティールーム 3月14日(金)

年度末恒例の催しとして、利用者を対象とした喫茶タイムを行った。めいめいが好きなケーキと、お茶を選択し、楽しいひと時となった。



### 13. 保健

#### (1) 日常の健康管理

日常の利用者健康管理を看護師が中心に行った他、嘱託医が定期的に来園し、看護師と共に施設内を巡回し、利用者健康状態の把握に努めた。

#### (2) 内科・精神科嘱託医による施設内巡回及び健康相談

来園日は看護師と共に施設内を巡回し、利用者の健康チェックを行った。この他、家族からの相談、インフルエンザ予防接種（利用者・職員）を行った。管理栄養士との合同相談では、栄養指導も併せて行うことにより、利用者の肥満対策に大変効果があった。ご家族自身の相談を受けることもあり、専門家からのアドバイスに感謝の声をいただいている。

#### (3) 定期健康診断

4月24日（水）、25日（木）に、葛飾検診センターの協力を受け施設内で総合検診を実施した。結果を家庭に報告すると共に2次検診が必要な方については、それぞれの家庭の判断で行っていただいた。その他、検便による細菌検査及びO-157検査を全利用者対象に行った。

#### (4) 歯科検診

6月5日（水）、12月4日（水）の2回、嘱託歯科医師により施設内で実施した。終了後、医師から表彰対象者の推薦をうけ、数名に表彰状を授与した。

#### (5) 摂食・嚥下指導

歯科検診とは別に、嚥下状態の検査（内視鏡VE検査）を訪問診療という形態で実施した。ご家族の付き添いをお願いし、施設内で実施したが、職員にとっても「咀嚼と嚥下」に関する学習の機会となり大変有効であった。

### 14. 業者委託等（給食・送迎）

#### (1) 給食（葉隠勇進株式会社）

平成25年度は前年度に行ったプロポーザルにより、委託業者を変更した。利用者および施設の細かい要望等を取り入れた給食を提供した。変更に伴う混乱は全くなかった。

#### (2) 利用者送迎（宮園自動車）

日常の送迎については利用者及び送迎時間に大きな影響が出ることはなかった。一日外出では主に施設公用車の運転を行う他、区内ショートステイの送迎を行った。

運転手（5人）は、玄関周りの清掃や、小破修理等で協力を行ってくれた。添乗員（4人）については、利用者支援のサポートに入る他、食堂の清掃を行った。

#### (3) 館内日常清掃

ワックスがけ等の館内定期清掃及び日常清掃について、委託業者により実施した。また、一部のトイレ清掃をきね川福祉作業所の利用者の方をお願いした。

#### (4) 講師

##### ①理学療法士：年間47回 水曜日午前（機能訓練）

計画通り利用者の機能訓練を行った。施術時間及び該当利用者人数の関係から1回あたりの利用者数は、該当利用者の半数であったが、大きな混乱なく実施できた。職員指導も適宜行った。

##### ②音楽療法士：年間46回 火曜日・金曜日（音楽療法）

知的障害者への音楽療法は、心の安定や自己表現の表出援助につながっており、楽しみにしている利用者も多い。情緒の安定に寄与する音楽の特性を生かした取り組みは、今後ますます重要となる。

以上